

巻頭言**特集号「低エネルギー社会に向けて」****NPO 法人もったいない学会 WEB 学会誌編集委員長、大久保泰邦**

石油ピークは、食料、輸送、工業生産に影響を与え、また都市生活にも影響を与えます。それらの影響は相互に相関しあい、新しい社会への変革へと向かうはずですが、ここでもっとも影響を受ける人々は一般市民であります。つまり、石油ピークが作る社会を夢多き姿にするのも、不幸なものにするのも我々一般市民の理解と行動が鍵になります。

しかし実際には変革に関わる人々は、政府であったり、大企業であったりします。また我々一般市民はその人々にまかせっきりにしています。ところがその人々は自身が推進する事の良い点だけを強調する傾向があるため、我々は現状に関して多くの点で誤った理解をしております。

当特集は、石油ピークとそれに伴って起こる社会変革、あるいは市民が積極的に起こす社会変革とは何かを、公正に説明し、一般市民に十分理解してもらうことを目的とします。

なるべく難解な表現は避けたつもりです。それでも理解しにくい点が多々あると思います。このようなご指摘を歓迎します。皆様からの忌憚のないご意見をお待ちします。